

あとがき……答えを求める人は答えを得られない

この本を読んで、人生の答えを得よう、と思っている人へ。

あなたは、大きな勘違いをしています。本は本です。答えなんて教えてはくれません。すべての本が答えを教えてくださいのならば、地球上は、平和で、紛争も貧困も、とつくの昔になくなっていくはずですよ。

この本は、人生の答えを得るためのヒントしか提供していません。

なぜなら、最終的に答えを出すのは、「あなた」自身なのですから。

私たちの持っている、常識、価値観、ものの見方、考え方は、実は、みんな既成の概念の上に成り立っています。「みんなが言っているから」「みんなが信じているから」「みんながやっているから」は、平等な社会を築く基盤ではありませんが、実は、危険な考え方でもあるのです。いつのまにか、その枠の中から飛び出せなくなってしまうから。飛び出す人を押さえつけてしまうからです。

ときには、常識を疑ってください。「あなたには、ふたつの道があります」なんて言う人は、私から言わせると、一種の詐欺師さぎです。道なんて、無限にあるのですから。

世の中を見るときには、必ず、自分の両方の目を見て、確かめてください。

実は私たちは、自由であるように見えない縄でがんじがらめに縛られていることも往々にしてあるのです。「常識」や「先入観」などは、さしずめ登山用のロープのよう。いくら引っ張っても切れません。

何事かにとらわれると、私たちは、見えない縄にからまって、身動きがとれなくなってしまう。実は、もっと、もっと、自由になれる方法はあるのです。

ときには、わがままになってもいい。ときには、感情的になってもいい。投げ出したって、逃げ出したっていいんです。ちょっと離れて物事を見るだけで、近すぎて見えなかったことがはっきりと見えてきます。

生きている限り、たくさんの悩みや迷いが降ってくるかもしれませんが。しかし、それらを逆から見ると、その状態を楽しもうと思った瞬間、あらゆる困難な状態が雲散霧消してしまいます。

それが、一天地六の法則です。

この法則が問題解決のヒントになりますように。